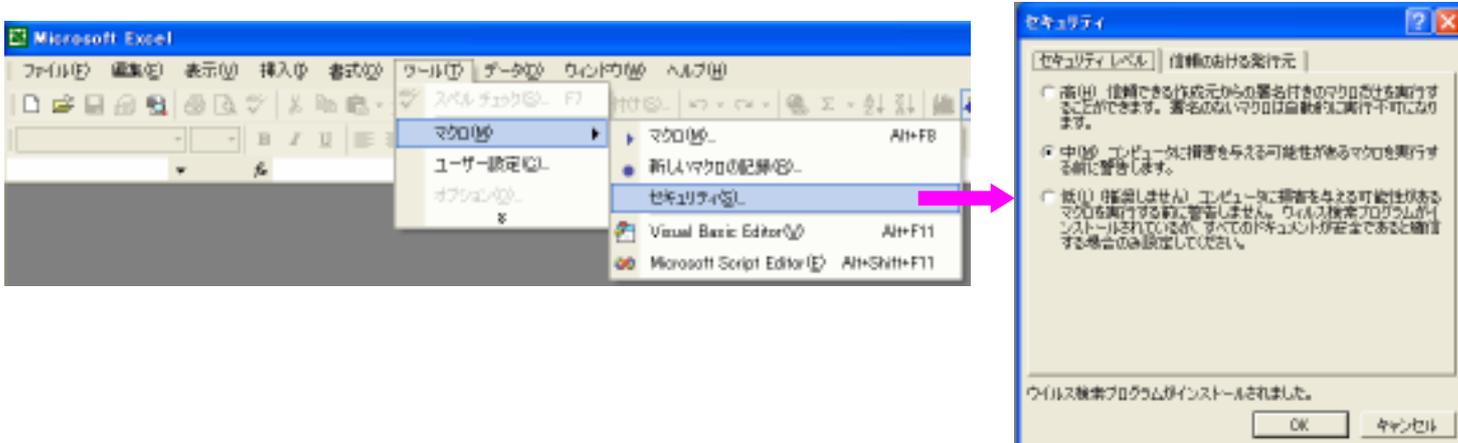


演習自在（選択/O×）

- Excel で簡単に問題作成・演習ができるシンプルで応用範囲が広い学習用ソフトです。
- 学校の勉強、資格試験の勉強、クイズゲームなど幅広く利用できます。
- 同時に選択式とO×式の2通りのオリジナル問題を作成できます。

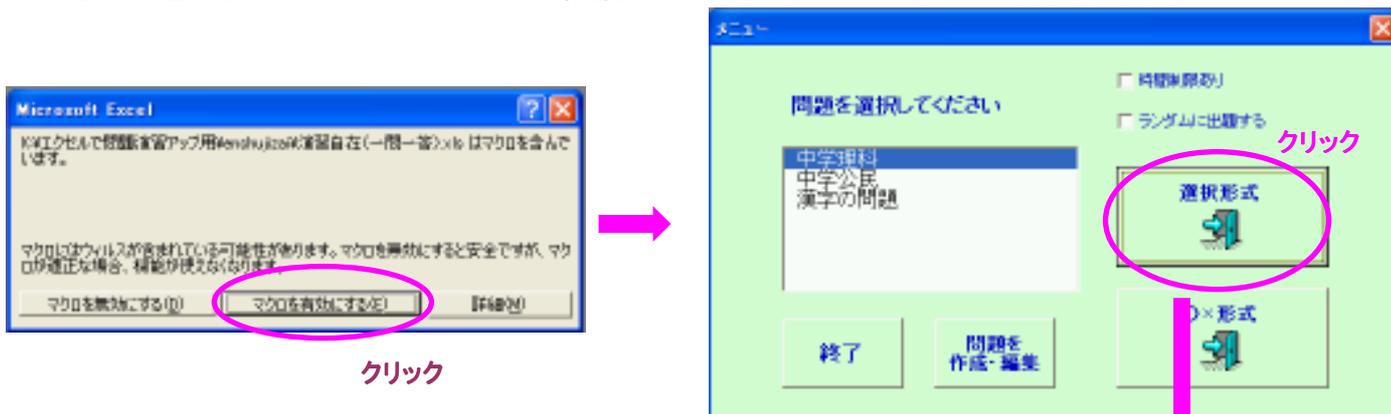
■ 始める前に Excel のマクロのセキュリティレベル設定を確認してください

Excel を開いて、ツール → マクロ → セキュリティ → セキュリティレベルを「中」か「低」にして下さい。

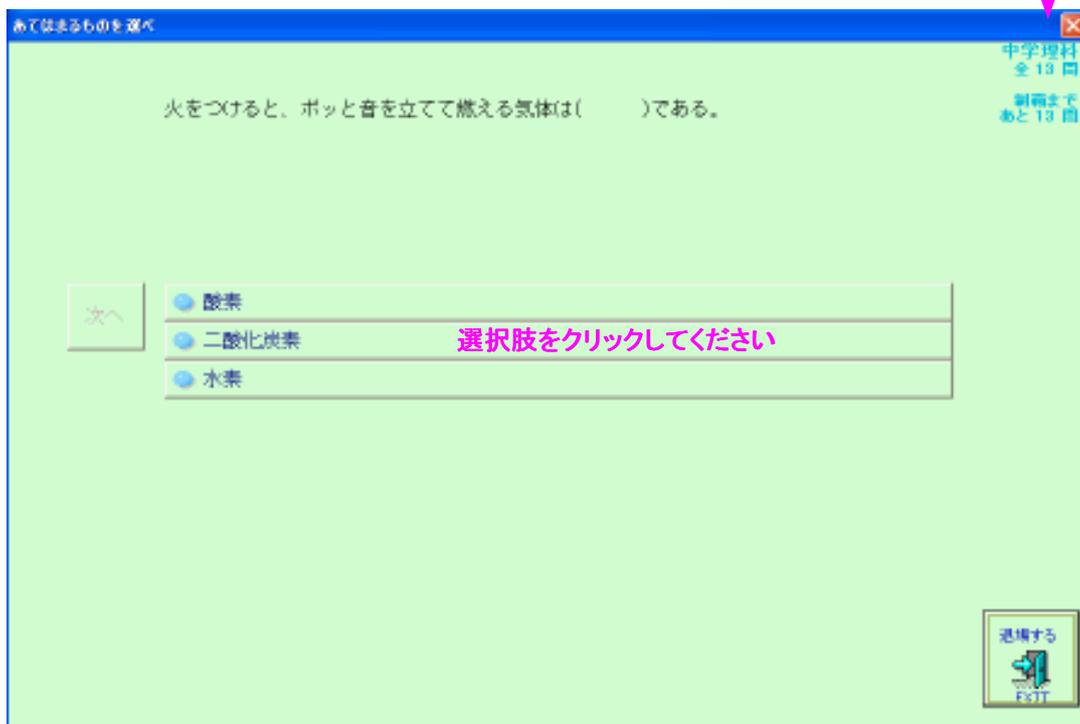


■ やってみましょう

演習自在(選択O×).xls を開いて、マクロを「有効」にしてください。メニューフォームが表示されます。



「選択形式」をクリックすると、下図のような問題演習フォームが表示されます。



正解の場合

あてはまるものを選び

中学理科
全 13 問
制覇まで
あと 13 問

火をつけると、ポッと音を立てて燃える気体は()である。

水素 ←正解が表示されます

次へ

酸素 選ばなかった答えはグレー表示になります

二酸化炭素

水素

「次へ」をクリックして次の問題に進みます

不正解の場合

あてはまるものを選び

中学理科
全 13 問
制覇まで
あと 12 問

空気より重く、消火作用がある気体は()である。

二酸化炭素

次へ

二酸化炭素

酸素

窒素

答えられなかった問題は正解するまで繰り返し出題されます。
選択肢の順番は、出題のたびにランダムに変化します。

すべての問題に正解するか、「退場する」をクリックするとメニューフォームに戻ります。

メニュー

問題を選択してください

中学理科
中学公民
漢字の問題

問題を
作成・編集

終了

問題集表示

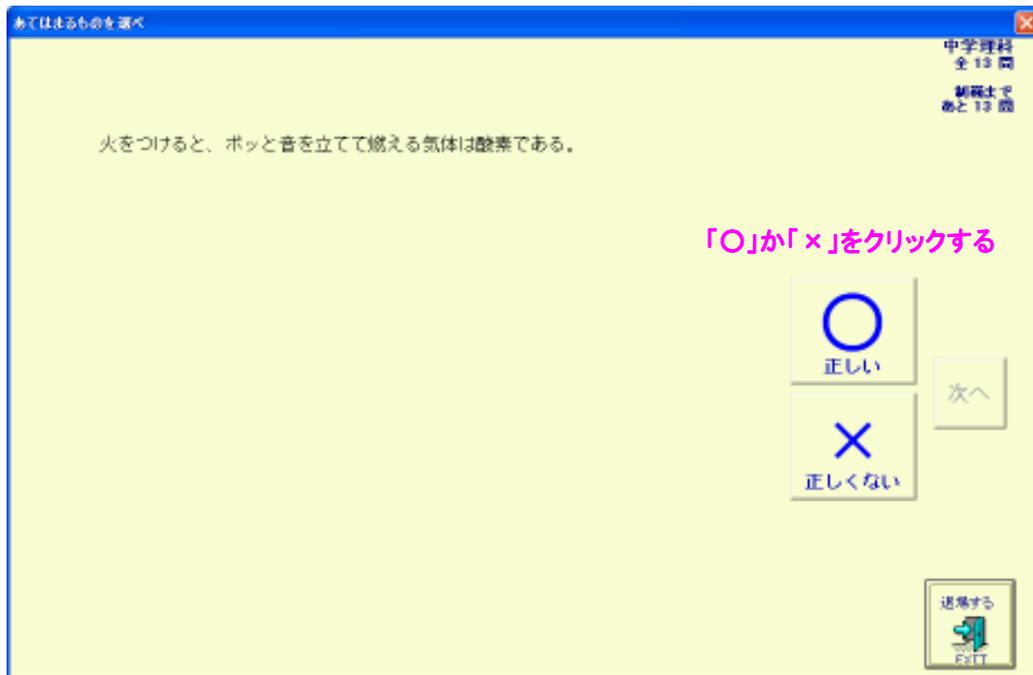
ランダムに出題する

選択形式

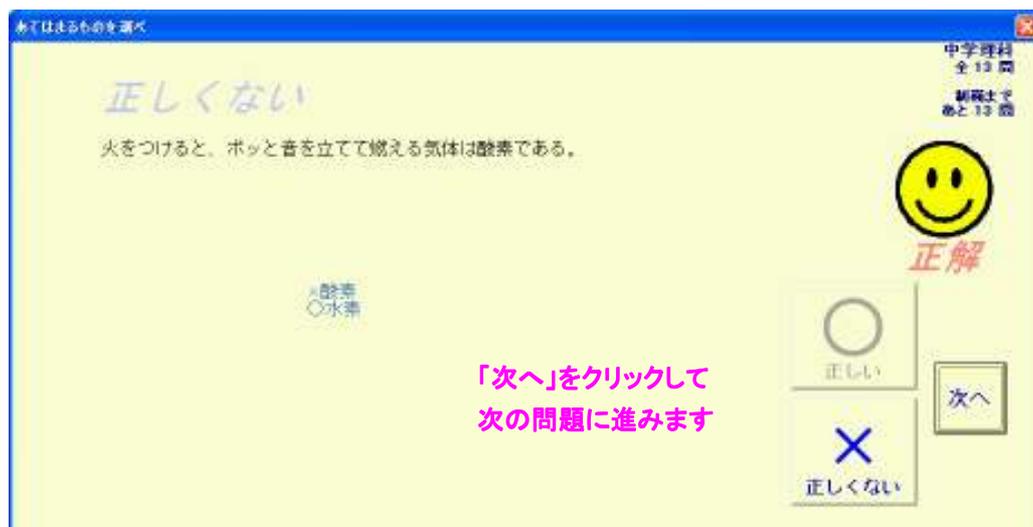
Ox形式

クリック

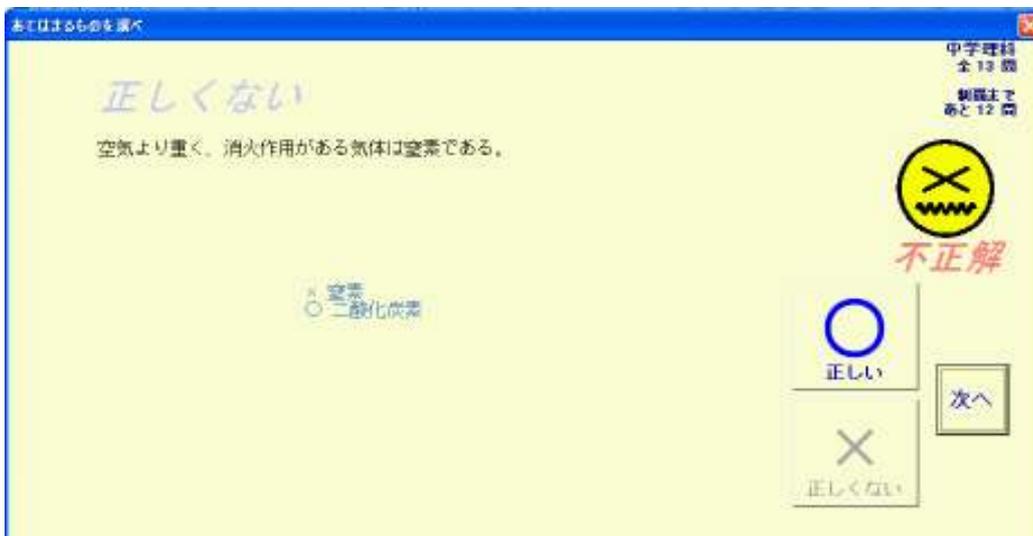
「○×形式」をクリックすると、次のような問題演習フォームが表示されます。



正解の場合



不正解の場合

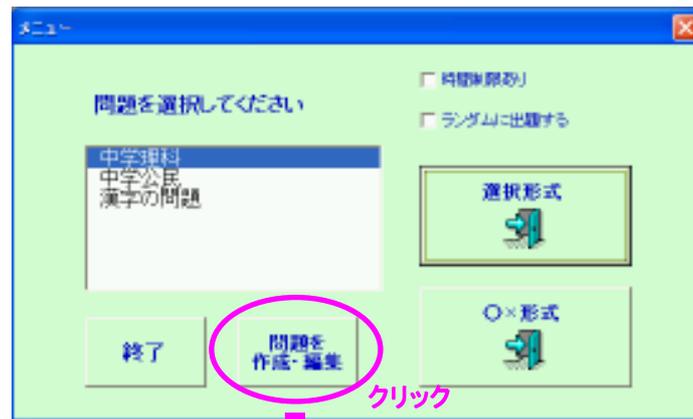


答えられなかった問題は正解するまで繰り返し出題されます。

※ランダムに選択肢を選んで文を作るので、出題のたびに○になるか×になるかが変化します。

■ 問題を作成・編集するときは・・・

メニューフォームの「問題を作成・編集」をクリックすると、ワークシートが表示されます。



A 列に問題文の前半 B 列に問題文の後半 D～L 列に不正解の選択肢(ダミー)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	あてはまるものを選び		正解	ダミー	ダミー	ダミー	ダミー	ダミー	ダミー
2	火をつけると、ポッと音を立てて燃える気体は	である。	水素	酸素	二酸化炭素				
3	空気より重く、消火作用がある気体は	である。	二酸化炭素	酸素	窒素				
4	空気中に約5分の4含まれている気体は	である。	窒素	酸素	二酸化炭素				
5	炭酸水素ナトリウムを加熱するとできる気体は	である。	二酸化炭素	酸素	窒素				
6	過酸化水素水に二酸化マンガンを加えてできる気体は	である。	酸素	二酸化炭素	水素				
7	空気中に約5分の1ふくまれている気体は	である。	酸素	二酸化炭素	水素				
8	物質が燃えるのを助ける働きがあるが、その気体そのものは燃えないのは	である。	酸素	二酸化炭素	水素				
9	石灰石に塩酸を加えると発生する気体は	である。	二酸化炭素	酸素	水素				
10	水に通すと、その一部が水にとけて炭酸水になる気体は	である。	二酸化炭素	酸素	水素				
11	石灰水を白くにごらせる気体は	である。	二酸化炭素	酸素	水素				
12	アンモニア水を弱い火で加熱すると発生する気体は	である。	アンモニア	二酸化炭素	酸素				
13	亜鉛にうすい塩酸を加えると発生する気体は	である。	水素	二酸化炭素	酸素				
14	水素、酸素、二酸化炭素のうち、最も軽いのは	である。	水素	二酸化炭素	酸素				
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22	あてはまるものを選び								
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

C 列に正解の選択肢

一行でひとつの問題となります

A 列1行目の内容が、問題演習フォームのタイトルになります

- ・あらかじめ入力されている例題に倣って、問題を作成してください。
- ・基本的には、A 列のセルに問題文の前半、B 列のセルに問題文の後半、C 列のセルに正解の選択肢、D～L 列のセルに不正解の選択肢を入力するだけです。
- ・必要に応じて、N 列セルにヒント、O 列セルに解説などを入力してください。
- ・書式の設定(太字、下線、斜体など)はできません(設定しても問題演習フォームでは反映されません)。
- ・文頭に選択肢が入る場合は A 列は空白で構いません。同様に文末に選択肢が入る場合は B 列は空白で構いません。
- ・問題データは上から詰めて入力してください。C 列の正解の選択肢は必ず入力してください。
- ・不正解の選択肢は D 列から左詰めで入力してください。
- ・シートを増やしたいときは、Excel の操作法に従って、新規シートを挿入するか、既存のシートをコピーしてください。
- ・問題を作成したら、ファイルに適切な名前をつけて保存してください。

■ 問題作成後、問題演習したいときは・・・

ファイルに 名前を付けて保存 → 閉じる → 保存したファイルを開く または、
ツール → マクロ → マクロ → Start を実行するとメニューフォームが表示され、問題演習ができます。

■ 画像を表示させるには・・・

例)シート「理科の問題」の 3 行目 M 列

H	I	J	K	L	M	N
ダミー	ダミー	ダミー	ダミー	ダミー	画像	ヒント
					¥sample.gif	

表示したい画像を  演習自在(選択○×).xls と同じフォルダまたは下位フォルダに保存してください。
画像ファイルが下位フォルダにある場合は「¥フォルダ名¥ファイル名.拡張子」、
同じフォルダにあるときには「¥ファイル名.拡張子」を M 列に入力してください。

※表示可能ファイル形式: GIF形式, JPEG形式, ビットマップ形式

注: 選択肢が 5 個以上あるときには、画像と選択肢ボタンが重なって表示されます。

■ その他

- ・ 問題演習の途中でもファイルを上書き保存すれば、後でその続きからはじめることができます。
- ・ メニューフォームで、
「制限時間あり」にチェックを入れると制限時間を設けることができます。
P 列「制限時間(秒)」に 10 と入力すれば制限時間は 10 秒になります。
P 列が空白の場合は 30 秒の制限時間になります。
- ・ 「ランダムに出題する」にチェックを入れると、問題出題順がバラバラになります。

[名 称] 演習自在(選択○×)

[作 者] Nishimata

[種 別] フリーウェア

[動作環境] Windows 2000/XP 以上、Excel2000 以上

[免責事項] 本ソフトは自己責任にてご利用ください。

本ソフトを使用したことで生じた損害について、作成者は一切責任を負いません。

演習自在シリーズのご紹介

- ・ 演習自在(一問一答)
- ・ 演習自在(一問十答)
「四大文明をすべて答えよ」「三権分立の三権を答えよ」といった複数解答がある問題に。1～10 個の解答が設定可能。
- ・ 演習自在(○×式)
- ・ 演習自在(選択式)
二択から十択まで、選択肢を 10 個まで設定可能。
- ・ 演習自在(選択/○×)
選択問題と○×問題を同時に作成可能。
- ・ 演習自在(複数選択可)
「あてはまるものを3つ選べ」といった複数選択式の問題に。選択肢は 10 個まで設定可能。